

## 第 42 回日本診療放射線技師学会の演題募集について

### 第 42 回日本診療放射線技師学会演題募集要項

#### 【1】発表形式と使用言語

##### 1. 一般セッション（学生発表含む）

会場口述発表を基本とします。抄録・スライド・発表は原則として日本語で作成してください。

日本診療放射線技師会の研究倫理にのっとり、本大会の演題登録では「研究」または「報告」いずれかの演題区分の選択が必要になります（詳細は【6】演題区分について参照）。

会場および運営の都合上、e ポスター発表に変更をお願いすることがあります。あらかじめご了承ください。

会場口述発表：当日、会場で口述発表していただきます。

e ポスター発表：当日、会場で示説発表していただきます。

##### 2. 会場口述発表について

発表時間 7 分、討論 3 分とします。時間を厳守してください。

大会開催前に、事前配信／オンデマンド配信用スライドデータ（PDF）をアップロードしていただきます。アップロード方法や討論方法などの詳細については演題採択決定時にお知らせします。発表用ファイル（パワーポイント形式）は会場でお預かりしますので USB メモリーなどでお持ちください。信用および発表用については、同一内容のファイルをご用意ください。

##### 3. e ポスター発表について

パソコンのディスプレイ画面による示説発表とし、座長進行による討論を行います。発表時間 3 分、討論 3 分とします。時間を厳守してください。その後、セッション終了まで個別に質疑応答を受けていただきますので、ディスプレイ横に待機していただきます。大会開催前に、事前配信／オンデマンド配信用スライドデータ（PDF）をアップロードしていただきます。アップロード方法や討論方法などの詳細については演題採択決定時にお知らせします。配信用および発表用については、同一内容のファイルをご用意ください。

#### 【2】応募資格

一般セッションの発表者は、日本診療放射線技師会会員で 2025 年度会費完納者に限ります。ただし、2026 年度入会手続き中の方は、プログラム委員会（5 月中旬予定）までに会費納入を含めた入会手続きが全て完了していることが必要です。

学生として応募する場合は、学部学生および大学院生のみを対象とし、社会人大学院生は対象外とします。

### 【3】 募集期間

2026 年 2 月 2 日（月）正午から 2026 年 4 月 30 日（木）正午まで。

原則、本大会では**募集期間の延長は行いません**のでご注意ください。

### 【4】 登録方法

第 42 回日本診療放射線技師学術大会ホームページ (<https://yamahogi.jp/jcrt42>) の「演題募集」ページよりご登録ください。

1. 初めて演題登録を行われる方は、「新規登録」から演題登録を行ってください。
2. 登録には演題区分（【6】を参照）、および演題領域区分（【10】を参照）、発表者名、発表者所属機関名、発表者会員番号、共同研究者（報告者）名、共同研究者（報告者）所属機関名、共同研究者（報告者）会員番号が必要です。また、共同研究者は 10 人までとします。
3. 登録後に確認・修正を行われる方は、「確認修正」から演題修正を行ってください。
4. 一般セッションでは抄録（本文 400 字以内）が必要です。
5. 演題受領通知は、E-mail で登録時、修正時にその都度連絡します。

受領メールが届かない場合は、大会事務局（42jcrt.endai@gmail.com）までお問い合わせください。

6. 演題タイトル、その他の注意事項

- ・演題タイトルは全角 80 文字以内としてください。
- ・会社名や商品名、商標名を使用することはできません。
- ・一般的でない略語は避けるようにしてください。用いる場合でも正式名称もしくは日本語名を併記してください。
- ・英語タイトルおよび日本語タイトル内の英語は、キャピタライゼーションルールに従ってください。
- ・抄録に図表の挿入はできません。

※ 不適切な用語であると大会実行委員会が判断した場合は、予告なしに改変する場合がありますのでご了承ください。

7. 演題を取り下げる場合、現地参加が困難になった場合は、大会事務局までメールで連絡をお願いします（42jcrt.endai@gmail.com）。

### 【5】 演題の採否、演題領域区分、日時、事前発表スライドの公開について

応募演題の採否、演題領域区分、日時は、プログラム委員会で決定します。決定後の変更は一切認めません。

演題採択通知書は 6 月下旬を目安にメールで申込者全員に通知します。

演題採択者には 7 月中に発表日時を通知します。

応募演題の内容が優れた場合であっても、他の関連学会や研究会ならびに地域学術大会な

どで発表されたもの、または明らかに内容が酷似していると判断されたものについては、プログラム委員会で不採択の決定をする場合があります。

応募演題の発表内容に関しては発表者が最終責任を負うこととします。なお、演題区分「研究」においては、研究倫理に十分な配慮がなされていることが必要です（詳細は【7】研究の倫理面に関する注意事項について参照）。

大会1週間程度前に、事前参加登録者に口述発表、eポスター発表のスライドを公開いたします。公開の日時、スライドのアップロードの方法等の詳細については演題採択決定時にお知らせします。

## 【6】演題区分について

演題区分は下記の通りとします。演題登録時にはいずれかの演題区分の選択が必要です。アンケート調査なども含めて「人を対象とした研究」については倫理審査委員会の承認を受けることを必要とし、演題登録で倫理審査委員会の承認番号などを明記していただくことが必須となります。しかし、日常の業務改善や症例報告、人を対象としないファントム実験などについては「研究」のカテゴリーとはせず、「報告」として演題登録していただけるように配慮致します。「報告」とは、研究目的ではない医療の一環と見なせるもので、症例報告は所属機関の長の承認を得たものとします。

演題区分一覧表

区分		内容	倫理審査の必要性
1.研究	1 人を対象とした研究	研究デザインを行い実施しており、人を対象としているもの。	倫理審査委員会の承認が必要
	2 人を対象としない研究	研究デザインを行い実施しており、人を対象としていないもの。	倫理審査委員会の承認は不要
2.報告	1 症例報告	各々の患者についての詳細な報告であり、症状、経過、診断、治療などの詳細についてまとめたもの。症例数については定義しない。 <b>施設のルールに従って所属機関の長の許可が必要</b>	不要
	2 技術報告	ファントムを用いた実験や、線量測定、画質評価、撮影条件の横断調査など、データ取得過程も含め、人の個人情報、医用画像や診断情報を用いず、主に物理的な事実を検証し、その理解を深めることを目的としたもの。	不要
	3 実践報告	日常の業務改善、放射線の安全管理、医療安全、勤怠管理、院内教育などの詳細についてまとめたもの。 <b>施設のルールに従って所属機関の長の許可が必要</b>	不要
	4 その他	教育、臨床実習、実習前客観的能力試験など、教育等についての詳細をまとめたもの。	

## 【7】研究の倫理面に関する注意事項について（JART）

応募演題の研究の内容により、厚生労働省などによる倫理指針および所属施設が定めた倫理規程を順守することが必要です。

- 1) 人を対象とした研究では、あらかじめ所属施設などにおいて倫理審査委員会などによる審査・承認を得ていることが必要です。演題登録時には必ず倫理委員会名および承認番号の入力が必要です。

- 2) 人を対象としない研究では、あらかじめ所属施設などの倫理審査委員会において倫理審査非該当であることを確認することが望ましい。

### 【8】利益相反の開示について

産学連携による臨床研究の適正な推進を図り、科学性・倫理性を担保に遂行された臨床研究成果の発表における中立性と透明性を確保するため、全ての発表者に「利益相反（Conflict Of Interest；COI）」の開示を求めます。

演題登録画面の「利益相反の有無」の入力欄で「ある」または「ない」をご選択ください。「ある」の場合、利益相反に関する申告書を第42回日本診療放射線技師学術大会ホームページよりダウンロードし、ご提出いただく必要があります。詳細につきましては、日本診療放射線技師会ホームページをご覧ください。

### 【9】注意点

提出いただいた抄録は、学術大会の演題コンテンツの一部として大会ホームページなどに掲載しますので了承をお願いします。

演題登録は原則として専用サイトを利用したオンラインのみとします。オンライン登録はインターネットに接続でき、本人の電子メールが利用できる環境が必要です。

演題登録の受け付けは、申込時に登録いただいたメールアドレスに電子メールで連絡します。確認メールが届かない場合は未登録扱いとなりますので、大会事務局まで電子メールで問い合わせてください。そのまま放置された場合、大会事務局では一切の責任を負いません。

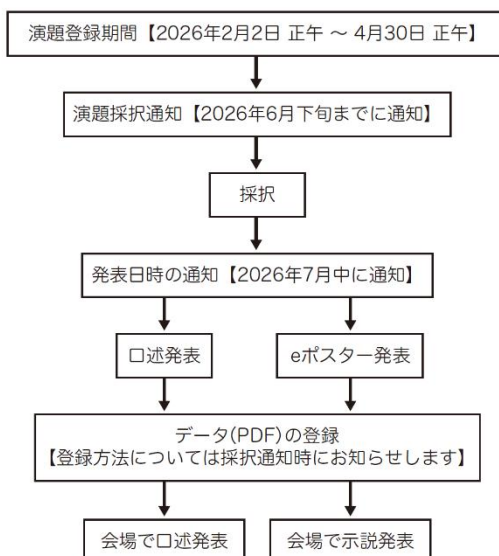
### 【10】 演題領域区分

1. 医療基礎		
	1 医療社会倫理	医療技術の進展に伴って生じる臨床上の問題、インフォームドコンセント、接遇（患者とのコミュニケーション・接遇、五感の不自由な患者への対応、セクハラ防止）、AIなど
	2 チーム医療	チーム医療への取り組み（実践例）、がん医療
	3 カウンセリング	放射線カウンセリング学の研究、調査、教育
	4 予防医療	予防医療への取り組み（実践例）
	5 その他	どの区分にも該当しない演題
2. 放射線管理		
	1 放射線被ばく	医療被ばくやその低減、従事者などの被ばくやその低減
	2 被ばく管理	放射線管理、管理用装置機器
	3 放射線計測・測定	計測技術など
	4 その他	どの区分にも該当しない演題
3. 機器管理		
	1 機器管理・保守管理	機器管理、保守管理
	2 医療機器安全管理責任者講習	医療機器安全管理責任者講習に関する実践
	3 その他	どの区分にも該当しない演題

4. 医療安全		
	1 医療安全	医療安全, インシデント・アクシデント
	2 リスクマネジメント	リスクマネジメント
	3 教育・研修	新人教育研修, 中堅教育研修
	4 その他	どの区分にも該当しない演題
5. 医療画像		
	1 読影の補助	読影の補助の実践, STAT画像
	2 医療画像精度管理	感光材料, 信号検出能, 画像表示装置, 画像評価
	3 医療画像情報管理	医療情報システム, 医療データ保存・管理, 画像圧縮技術, 画像通信
	4 その他	どの区分にも該当しない演題
6. 教育		
	1 人材育成	中高生への進学指導など地域での取り組み, オープンキャンパスなど教育機関での取り組み
	2 技師教育	診療放射線技師養成機関での教育, 新人教育・中堅教育・管理職教育, 機器関連・医療情報関連メーカーの診療放射線技師の教育など
	3 OJT (On-the-Job Training)	施設内教育・教育訓練
	4 その他	どの区分にも該当しない演題
7. X線撮影		
	1 画像評価	MTF, 画像処理技術
	2 臨床応用	撮影技術, 臨床評価
	3 造影	造影手法, 効果, 副作用
	4 被ばく・放射線計測	DRLなど
	5 装置・関連器具	補助具, 固定具など
	6 その他	どの区分にも該当しない演題
8. X線CT検査		
	1 画像評価	MTF, NPS, 画像処理技術
	2 臨床応用	撮影技術, 臨床評価
	3 造影	造影手法, 効果, 副作用
	4 被ばく・放射線計測	CT-AEC, CTDI, DRL
	5 装置・関連器具	area detector, dual energy CT, 固定具
	6 その他	どの区分にも該当しない演題
9. MRI検査		
	1 画像・臨床	撮像技術, 臨床技術
	2 性能評価	性能評価, アーチファクト
	3 機能描出・MRS	Diffusion, Perfusion, fMRI, ASL, MRS
	4 血管関連	MRA, MRV, プラークイメージ
	5 薬剤関連	造影剤, その他薬剤
	6 装置・器具関連	コイル, シミング, 装置開発, 関連器具
	7 安全・保守管理	吸引, 発熱, 神経刺激, 問診
	8 その他	どの区分にも該当しない演題
10. 血管撮影		
	1 撮影技術	撮影方法・撮影プログラム
	2 装置管理	始業点検, メンテナンス
	3 画像評価	画像処理技術
	4 被ばく管理	システム
	5 読影の補助	技師による読影補助, 遠隔読影システム
	6 安全管理	教育, マニュアル
	7 臨床応用	臨床評価
	8 その他	どの区分にも該当しない演題
11. 消化管撮影		
	1 物理特性	物理評価, 画像処理技術
	2 精度管理	機器, システム, 被ばく
	3 撮影技術	撮影技術, 手法
	4 臨床応用	症例, ヘリコバクターピロリ, ABC検診, 内視鏡
	5 その他	どの区分にも該当しない演題

1 2. 超音波検査		
	1 腹部領域	肝臓, 胆嚢, 膵臓, 腎臓, 脾臓, 膀胱, 消化管, 肝造影検査
	2 体表領域	甲状腺, 乳腺, 乳腺造影検査, 表在, 整形
	3 循環器・血管領域	心臓, 頸動脈, 上下肢動静脈
	4 その他	どの区分にも該当しない演題
1 3. 核医学		
	1 SPECT	脳, 心臓など
	2 PET	臨床, その他
	3 一般	核医学検査総論, 機器の精度管理など
	4 その他	どの区分にも該当しない演題
1 4. 放射線治療		
	1 外部照射	放射線治療技術, X線, 電子線, シェル・固定具など技術評価
	2 IMRT	IMRT, 定位放射線治療
	3 小線源治療	RALS, 組織内照射, 腔内照射, モールド照射
	4 治療計画	品質保証, 品質管理, 計算アルゴリズム
	5 保守管理	精度管理, 精度検証
	6 その他	どの区分にも該当しない演題
1 5. 乳房撮影 (マンモグラフィー)		
	1 物理特性	物理評価, 画像処理技術
	2 精度管理	機器, システム, 被ばく
	3 臨床応用	撮影技術, 臨床評価
	4 その他	どの区分にも該当しない演題
1 6. 骨密度検査		
	1 画像・臨床	撮像技術, 臨床技術
	2 精度管理	機器, システム, 被ばく
	3 その他	どの区分にも該当しない演題
1 7. 疾病・臓器		
	1 頭頸部	(超音波, 一般撮影, MRI, CTなど複合のモダリティの画像から有用であった臨床についての発表)
	2 胸部	
	3 腹部	
	4 骨・軟部領域	
	5 循環器	
	6 その他	どの区分にも該当しない演題
1 8. 検診/健診		
	1 頭頸部	脳ドック, 超音波検査
	2 胸部	胸部X線撮影, 肺がんCT
	3 乳房	乳房撮影, 超音波検査
	4 腹部	消化管撮影, 大腸CT, 超音波検査
	5 その他	どの区分にも該当しない演題
1 9. その他		
	1 その他	上記いずれのセッションにも含まれないと思われる診療放射線技師に関する演題

# 演題応募から発表までの流れ

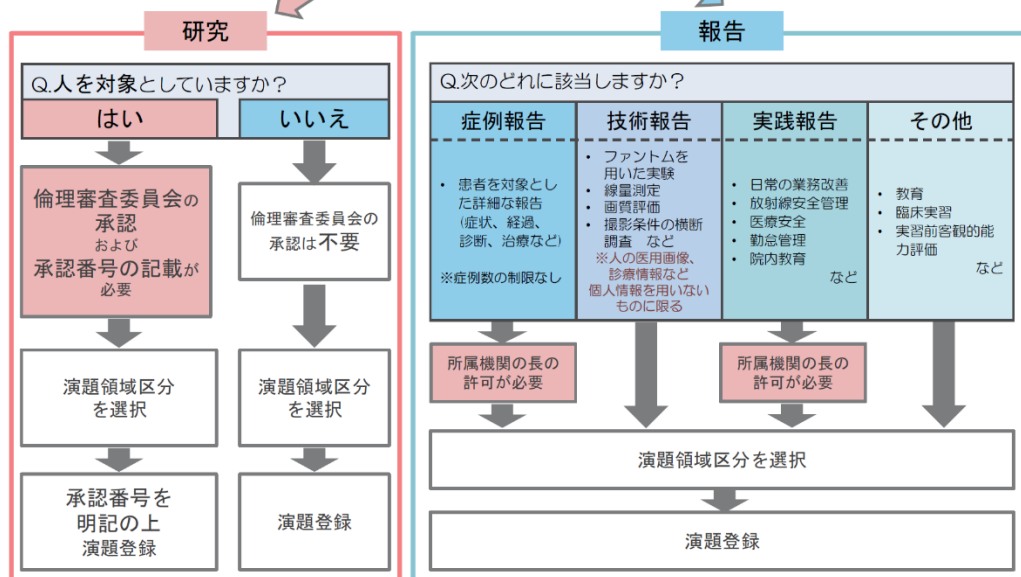


## 演題区分と 演題登録までの流れについて

Q.どちらに該当しますか？

**研究**      **報告**

※報告＝研究目的ではない  
医療の一環と見なせるもの



## 第 42 回日本診療放射線技師学術大会【大会事務局】

一般社団法人山形県放射線技師会

〒990-9585 山形県山形市飯田西 2 丁目 2-2

山形大学医学部附属病院 放射線部内

URL <https://yamahogi.jp/jcrt42/>

演題担当 E-mail 42jcrt.endai@gmail.com